

令和5年度

事業計画

社会福祉法人 やまなみ会

インターワーク

就労継続支援 A 型事業

就労継続支援 B 型事業

生活介護事業

目 次

1.	はじめに	・・・・・・・・1
2.	施設理念	・・・・・・・・1
3.	運営方針	・・・・・・・・1
4.	重点項目	・・・・・・・・1
5.	各事業計画	・・・・・・・・2~3
6.	行事予定	・・・・・・・・3
7.	研修予定	・・・・・・・・3~4

インターワーク事業計画

1 はじめに

昨年度に続く新型コロナウイルス感染予防対策の影響により、就労活動面での売上が低迷している状況にあるなか、就労継続支援 A 型事業（ウィルアークス）と統合しインターワークとして新たに事業の基盤強化を目指していく。就労各部門においては新たに農作業に取り組み、就労の場を広げる。また製造面でも新商品の開発に努めると同時に、販売取引先の確保や拡大し収益の増加につなげる。そして更なる工賃アップを目標に活動を行い、就労を通して働く楽しさや意義を分かち合える環境を整え、自立に向けた支援提供ができる体制をとる。更には、緊急時や災害等の危機的状況にも的確且つ迅速に対応できるよう、隣接するグループホーム草原の風とも協力し日常的に防災・防犯を心がけていく。

2 施設理念

- (1) 人間として尊重される施設
- (2) 生きがいを持てる施設
- (3) 地域での生活が保障できる施設
- (4) 相互に支え合い連帯できる施設
- (5) 健やかで安らぎのある施設

3 運営方針

インターワークは、障がいのある方が人間としての尊厳が守られ、豊かな人生を自己表現できるよう支援することを目的とする。利用者の個性を尊重し、安全で働きやすい職場環境づくりに努める。また、自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう、一人ひとりのニーズに合ったサービスを提供し安心して就労活動が行えるよう支援する。

4 重点項目

- (1) 新規利用者の獲得へ向けて、支援学校や職業安定所などへの勧誘活動を行う。
- (2) 定期的なケース会議の開催し、各部門と情報を共有し、個々のニーズに沿った支援の推進を図る。また、過ごしやすい環境づくりに努める。
- (3) 各部門と情報を共有し、常に推進できるように改善をはかる。
- (4) 朝礼時の健康チェックの実施、日々の健康管理に努め風邪や感染症等の拡大を防ぐ。
- (5) 職員の各種研修会等への参加を積極的に行い、サービスの質の向上に努める。
- (6) 継続して地域連携・地域貢献し、多様な就労機会の確保に努める。
- (7) 日ごろから建物やその周辺の点検を行い、火災・防犯予防に努める。

5 各事業計画

(1) 就労継続支援 A 型事業（定員 10 名） 現 13 名在籍 令和 5 年 4 月より 12 名在籍予定

就労の機会を増やし活動をより充実させ個々の就労意欲を向上するとともに、地域の強みを活かし生産物の栽培を通して食品加工の材料自給率を上げ、コロナ禍や物価の高騰に負けず、賃金上昇を目指す。また、昨年続く収入の維持向上や確保に努める。

ア 農業

- ・地域農家と連携し農業生産を行っていく、またその農作物を食品加工に活用していく。
- ・引き続き作業実習に取り組み、取引先と常に情報交換し関係性を築く。また、新規の作業実習先の確保につなげる。
- ・行政や近隣事業所また農家等へ作業案内を行い、役務作業（清掃や除草）の受注件数を増加させる。
- ・年間契約の推進及び、顧客確保のための情報収集に努め、更なる作業種の幅を拡大する。

(2) 就労継続支援 B 型事業（定員 20 名） 現 12 名在籍 令和 5 年 4 月より 13 名在籍予定 平均工賃 23,698 円

熊本県へ提出した工賃向上計画に基づき、更なる平均工賃の向上目標とする。各種販売会への参加や、委託店舗契約数の増加による販路拡大も行き、収益を上げ更なる工賃の支給額上昇を目指す。また、個々の作業能力に問わず作業に参加することで就労意欲が高まるよう、効率の良い支援を行っていく。また定員充足に向け各関係機関へアプローチを積極的に行っていく、利用契約者が既定定員を満たすよう努める。

ア 外注作業

- ・施設外での作業実習の機会を増やす。
- ・お菓子の香梅、製函作業を引き続き行う。不良ゼロを目標に、常に正確さを求めるよう声掛けを行う。また、新規での受託作業も積極的に増やしていく。
- ・グリーンファームの紐巻き作業やシール貼りの作業、クレーンビューティーの衣類検品や梱包作業を行い、今後はさらに作業種を増やせるよう先方に声掛けする。

イ 食品加工

- ・引き続き酵素商品、にんにくみそ、ドレッシング等の食品加工を行う。
- ・施設内で行える活動を引き続き提案・試行する。
- ・現在の OEM の取引は 5 件、他 10 件は新規へ向けての試作・考案に段階にある。引きき新たな商品提案を推進し契約件数を増やしていく。

ウ 珈琲製造

- ・ オフィスコーヒーとして定期的な珈琲豆の販売が確保できるよう努める。
- ・ 季節ギフトに限らず多様な機会での贈答用も展開し、消費者の確保と売上アップに繋げる。
- ・ パッケージやシール等のデザインも定期的に見直しをはかり、進化させた商品づくりをしていく。
- ・ ドンゴロス製品の製作を行い、材料は無駄なく活用し、製品の強度や品質を向上する。
- ・ 消費者のニーズも取り入れ、より活用的な仕様のもや新製品の開発にも努める。
- ・ 販売会等に積極的に参加し、既存商品・新商品のPR活動を行い、売り上げの向上に努める。

令和5年度販売会参加予定計画

事業名	期日	場所
令和5年度第1回ほっとはーとマーケット	4月	びふれす広場
令和5年度第2回ほっとはーとマーケット	7月	びふれす広場
小国ふくし祭り	8月	JA阿蘇小国郷
くんわの里夏祭り	9月	くんわの里
令和5年度第3回ほっとはーとマーケット	9月	びふれす広場
令和5年度障がい者福祉施設等展示・商談会	11月	県庁本館地下大会議室
第28回福祉施設商品販売会	2月	ゆめタウン光の森
令和5年度第4回ほっとはーとマーケット	3月	びふれす広場

*その他販売会の依頼があれば随時参加予定

(3) 生活介護事業 (定員10名) 現6名在籍

高齢化が進み、作業能力や身体機能の低下がみられる現状に対応すべく、職員の資格取得や研修への参加により、支援の質や技術を高めていく。また、新規利用者の受入れ強化や、軽作業による就労機会を増やすと同時に創作活動も充実させていく。

ア 軽作業

- ・毎日の健康観察は入念に行い、体調の変化等には早急に対応し家族やグループホームとも常に連携を図る。
- ・基本的な身だしなみを習慣づけるため、服装や整容のチェックや助言をしていく。
- ・製函作業やシール貼作業などのできる軽作業を提供し、また機能訓練を兼ねた創作活動の機会を取り入れる。

6 施設内行事予定

季節ごとにイベント行事の機会を取り入れ、社会参加を目的として楽しみを持てる環境づくりを目指す。

4月	お花見（弁当・昼食会）
8月	バーベキュー昼食会
12月	忘年会
1月	初詣（阿蘇神社）、鏡開き（ぜんざい）
2月	節分（豆まき）
毎月	買い物支援（希望者への買い物同行）

7 研修参加予定

①施設外研修

対 象	参 加 研 修
管理者	全国就労センター長研修会
管理者・職員	熊本県障害者虐待防止権利擁護研修大会
管理者・職員	工賃向上支援研修会
職員	農福連携研修会
職員	福祉サービス苦情解決事業研修会
職員	食品管理衛生者講習会
職員	社会福祉法人労務研修会

②施設内研修・委員会

月	研修内容	委員会
4	虐待防止	虐待防止委員会
5	身体拘束等適正化	身体拘束等適正化委員会
6	感染症（食中毒）	感染対策委員会
7	就業規則（服務規程）	
8	就業規則（ハラスメント）	
9	防災教育（非常災害への対応等）	
10	虐待防止	虐待防止委員会
11	身体拘束等適正化	身体拘束等適正化委員会
12	感染症（インフル・コロナ等）	感染対策委員会
1	業務継続計画①	
2	業務継続計画②	
3	防災（非常災害への対応等）	